

清流中だより



桐生市立清流中学校
第14号(最終号)
令和7年3月26日
文責：校長

☆卒業生84名の巣立ち！ 1,2年生は進級！☆

春らしい暖かい空気に包まれた3月13日(木)に卒業式が行われ、卒業生84名がそれぞれの進路に向かって本校を巣立っていきました。卒業式は、厳粛な中にも感動ある素晴らしい卒業式になりました。特に呼名に対する卒業生の「はい」という返事や、卒業生の歌は、気持ちがかもっていて素晴らしかったです。参列した在校生は、3年生が示してくれた清流中学校のよき伝統をしっかりと引継ぎ、本校が更に素晴らしい学校へと発展できるように力を合わせて頑張ろうという気持ちを高めてくれたことと思います。

楽しみ?不安?なクラス替え 安心できるクラスを

進級や進学は気持ちや行動を変える大きなチャンスです。生徒には今まで自信のなかったことや不得意だと思っていたことなどに新たな挑戦をしてほしいです。「仲良しの子と同じクラスになれるか?」「担任の先生はどんな先生か?」となど不安もあるかもしれませんが、安心できるよいクラスにするためには、クラス替えのあと、新しいクラスを「こんないいクラスにしたい」という一人一人の気持ちが必要です、それが大きな力になります。クラスは担任の先生と生徒が協力してつくるものです。

昨年このたよりで載せましたが、クラス替えに不安をもっている生徒に一つだけアドバイスをすることになったら、私ならこう言います。「同じクラスになりたい人がたった1人だけだと、なれなかった時のショックが大きいので、できるだけ多くの人の名前をあげておくといいです。最低4人はあげてください。その中の一人でも仲のよい子が同じクラスにいたらまずは満足し、一日一日と新しい友達を増やしていけばいいのです。」と。人間なので得意なタイプ、苦手なタイプがいると思いますが、様々なタイプの友達と接していくことは、社会性を身に付ける上でとても大切なのです。



☆1年生「桐生学習」に外部講師招聘☆

1年生では3学期に「桐生学習」をスタートしました。桐生市が推進する「桐生を好きな子供」を育てる事業を受け、郷土「桐生」のよさを様々な面から学んでいく学習です。第1回

(右写真上)は「吾妻山友の会」の福田さんから、吾妻山の素晴らしさや、その環境を守っていくことの大切さについての話があり、その後、福田さんが吾妻山で知り合った、全国の低山にチューバを担いで登り、頂上でチューバの演奏会を開くという活動をしているチューバ奏者の本橋隼人さんをお迎えして、チューバの演奏を聴いたり、校歌や八木節でコラボしたりしました。本橋さんは吾妻山を気に入り、この日も吾妻山に登ってから来校しました。全国の都道府県で演奏していないのは山形県のみだそうです。第2回(右写真下)は、桐生のNPO法人キッズバレイから2人の講師を迎えて、「あなたと私でつくる未来の桐生」の授業を行いました。人口減少が急激に進んでいる桐生市の未来像を、グループで考えるといった活動が中心でしたが、生徒から様々なアイディアが出されました。今後の桐生市の活性化、発展をみんなで考える有意義な時間となりました。



「先輩に学ぶ」 R6・7年 箱根駅伝出場 本校出身 駒澤大学 帰山侑大選手来校

今年の1月2・3日に行われた第101回箱根駅伝で、1区を走り、見事区間2位のタイムで2区の選手に襷を渡した駒澤大学の帰山侑大選手が、母校である本校に来校し、2年の生徒に出前授業を行ってくれました。帰山選手は平成28年に本校に入学し、陸上部に所属していました。3年時には1,500mで関東大会優勝、全国で4位に入るなど活躍し、樹徳高校に進学。陸上部では長距離選手としてインターハイに出場するなど活躍し、駅伝の実力校である駒澤大学に進学して現在に至ります。駒澤大学では昨年と今年、箱根駅伝に出場しました。今年は1区で2位という素晴らしい成績で襷をつなぎました。



質問コーナーでは、『過程』と『結果』はどちらが重要か』の質問に、「アスリートの世界では」と前置きした上で「結果が大切で、結果が全てである」と答えたことが印象的でした。一般的には『結果』より『過程』が大切で、頑張ったことは次につながる」と答えそうなものですが、やはり勝負の世界は厳しく、いくら苦しさに耐え真剣に練習したとしても、結果がでなければ何も評価されないのが現実ということなのでしょう。確かに、プロスポーツの世界はみんなそうです。次のコーナーで、代表生徒による走りを見て、「ブレーキをかけながら走っています」など瞬時に生徒の走り方の癖を見抜いたのには、「さすがだ」と感心しました。素人目には、いい走りに見えていました。最後に、後輩たちに向けて、夢を叶えるには、やはり『根性』が大切であることや、本気になって取組(挑戦)を続けることが大切であるといったメッセージを送ってくれました。



本校の先輩であり、「箱根駅伝に出場する」という小さい頃からの夢を実際に叶えた帰山選手からのメッセージなので、生徒の心に大いに響いたことでしょう。講演会終了後、陸上部の練習にも少し参加してくれました(左写真)。

☆退任式 今まで大変お世話になりました☆

卒業式、修了式を終え、令和6年度の全ての行事が終了しました。保護者の皆様のご理解とご協力により本校の教育活動が無事終了できましたことに感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

なお、本日の修了式後に退任式が行われ、3月末日をもって本校を去る以下の職員を全校生徒に紹介し、簡単なお別れの会をしましたので、お知らせいたします。

＜令和6年度末人事異動者(計〇名)＞

※先生方の異動先については4月1日の新聞紙面をご覧ください。

1年間たいへんお世話になりました。来年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。